

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	より利用者の思いや気持ちを把握できるよう、勉強会や研修会を積み重ねて行って欲しい。	グループホームとは認知症があることを念頭に、利用者の方の思いや考えを受け止めることによって、「利用者が自分らしく伸び伸びと暮らしていくことができる」ということを職員が認識できる。	日頃のケアでわからない点やできていないところ、またその時々の入所者様の思いを考えながら全体研修やミーティング等を行う。具体的には、グループワークや演習を取り入れ、毎日のケアに対しても緊張感を感じられるようにする。さらに年間研修を確認しながら、対象職員を選び研修に参加していくことで職員のスキルアップを目指す。	12 ヶ月
2	35	地域住民を交えての訓練を行い、地域との協力体制がより築けることを期待したい。	地域住民との信頼関係を築き、災害時やイベント時の協力体制がとれるようになる。	現在の状況下の中交流を図ることは難しいところがあるが、無理のなく必要な時に交流が図れるようにしていく。近隣との挨拶や、今年度の目標として山羊牧場の設置もあり、保育園や近隣の方との触れ合いも目標としている。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月